



ミニディスクロージャー誌

平成29年3月期
営業のご報告

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「**α**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、
人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。



LINE@ 京葉銀行 公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね！
楽しいコンテンツやLINE限定の特典も！

LINEアプリで公式アカウントを検索
京葉銀行

またはLINEアプリの
QRコードリーダーで！



京葉銀行

本店 〒260-0015
千葉市中央区富士見1-11-11
千葉みなと本部 〒260-0026
千葉市中央区千葉港5-45
TEL. 043(306)2121
<http://www.keiyobank.co.jp>



京葉銀行



お客さまに信頼と利便性、
高い満足度を提供する魅力のある、
活力あふれる銀行を目指して

Contents

トップメッセージ／中期経営計画	3
特集① 地方創生	5
特集② 接点の拡大～オムニチャネル化～	7
より豊かに～法人のお客さまへ～	9
もっと近くへ～個人のお客さまへ～	11
よりよい未来のために～CSR～	15
平成29年3月期 業績のご報告(単体)	17
財務諸表(単体)	19
株主の皆さまへ	20
株式情報・役員	21
店舗地図	22

当行のプロフィール

名 称／株式会社京葉銀行	従 業 員／2,119名
英文名称／The Keiyo Bank, Ltd.	総 資 産／4兆5,951億円
設 立／昭和18年3月31日	預 金／4兆2,388億円
資 本 金／497億円	貸 出 金／3兆2,712億円
本 店／千葉市中央区富士見1丁目11番11号	自己資本比率／単体 11.23% (国内基準) 連結 11.26%
拠 点 数／277ヵ所	格 付／A- (S&Pグローバル・レーティング) A+ (株式会社日本格付研究所)
本支店：117 出張所：2 店舗外ATMコーナー：158	

(平成29年3月31日現在)

トップメッセージ



取締役頭取 熊谷俊行

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

日本経済は、輸出・生産面で持ち直しの動きがみられるほか、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費も底堅く推移するなど、今後も緩やかな回復基調が続くと期待されています。一方で、人口減少や少子高齢化といった構造的な変化が一段と進展するなか、地域社会・経済においてはさまざまな課題が顕在化しており、地域金融機関には、金融仲介機能の発揮やお客さま本位の良質なサービスの提供を通じて、地域経済の活性化にこれまで以上に積極的に関与していくことが求められています。

このような環境下、当行は、第17次中期経営計画「α ACTION PLAN 2018」を推進しており、平成29年度はその最終年度となります。計画の副題に掲げる『変革と実行』のもと、「地域活性化への積極的な貢献」、「未来を見据えた経営基盤の構築」、「経営管理態勢の高度化」の3つの経営課題に取り組み、当行の「次なる成長」へ繋げてまいります。

地域活性化への積極的な貢献

当行は創業以来、「お客さま目線」を第一に業務運営を実践しており、引き続き地域密着型金融の推進を通じて、地元千葉県とともにさらなる成長、発展を遂げていくことが重要であると認識しております。法人のお客さまには、経営者との対話を通じて、事業内容や成長可能性を見極め、融資や本業支援等、経営課題の解決へ最適なソリューションを提供してまいります。また、個人のお客さまには、フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）の精神に則り、多様化するニ

ズや利益に真に適うサービスや商品の提供に努め、安定的な資産形成を後押しするなど、質の高いコンサルティング機能を発揮してまいります。

未来を見据えた経営基盤の構築

少子高齢化やIT化の進展等、環境変化への確に対応するため、お客さまが、いつでも、どこでも、便利で安心、快適なサービスをご利用いただける「オムニチャネル化」を推進してまいります。本年4月に開設した「インターネット支店」をはじめとし、非対面チャネルの一層の充実を図っていくほか、印鑑レス、通帳レス、ペーパーレスの促進により、来店時の手続負担を軽減する「次世代型店舗」を順次拡大するなど、先進的なサービスの導入に努めてまいります。また、常にお客さまへ「プラスアルファ」の付加価値を提供できるよう、専門性の高い「人財」の育成やダイバーシティを推進し、「働き方改革」を通じた

生産性向上に取り組んでまいります。

経営管理態勢の高度化

海外経済の不確実性、低金利環境の長期化等、経営を取り巻く各種のリスクに適切に対処するとともに、法令および企業倫理の遵守を徹底し、コンプライアンスに対する意識啓発に努めてまいります。加えて、コーポレートガバナンスの強化や、CSR（企業の社会的責任）を意識した経営の実践により、持続的成長と中長期的な企業価値の一層の向上を目指してまいります。

こうした取り組みを通じて、全てのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループの役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

第17次中期経営計画 期間 3年間(平成27年度～平成29年度)

α ACTION PLAN 2018 ～持続的成長へ向けた「変革と実行」～

目指す
銀行像

お客さまに信頼と利便性、
高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

3つの
経営課題

- 1 地域活性化への積極的な貢献
- 2 未来を見据えた経営基盤の構築
- 3 経営管理態勢の高度化

計数目標

平成30年3月期

当期純利益	自己資本比率	OHR	預金残高	貸出金残高
140億円	12%程度	65%程度	4.4兆円程度	3.4兆円程度

※当期純利益、OHRについては平成28年5月11日に目標の見直しを行っています。

地方創生

「観光によるまちおこし」「医療・介護によるまちづくり」「インバウンドによる地域活性化」を3大テーマとし、地方創生に貢献するさまざまな取り組みを進めています。

観光によるまちおこし

香取市で推進している観光活性化をより円滑に進めるため、平成29年2月、関係6者間で『千葉県香取市の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定』を締結しました。



古民家宿泊事業への出資

平成29年2月に、REVIC・佐原信用金庫との連携により設立した「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」は、1号案件として古民家宿泊事業会社へ投資しました。今後、同社は古民家を改修したホテルなどを順次開業予定です。

約三百年続く「佐原の大祭」



～佐原観光を「滞在型」へ～

香取市佐原地区は、歴史ある街並みやユネスコ無形文化遺産に登録された「佐原の山車行事」（佐原の大祭）等の観光資源を有しながら、日帰り観光客が大半であることが課題でした。当行は、「滞在型観光」へのシフトを支援することで、地域活性化を目指しています。



江戸時代に舟運で栄え、現在も歴史ある街並みが残る

医療・介護によるまちづくり

医療・介護・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を支援するとともに、誰もが健やかに安心して生活できる「スマートウェルネスタウン」の実現による地域活性化を目指しています。



TOPICS

病院・複合商業施設の建設始動

平成29年1月、浦安市・浦安中央病院・ミサワホームと締結した4者連携協定に基づき、病院を併設した複合商業施設の共同起工式が行われ、建設が始動しました。



インバウンドによる地域活性化

訪日外国人観光客の利便性向上による観光の活性化を目的に、海外で発行されたキャッシュカードやクレジットカード等で日本円のお引き出しが可能なATMを成田国際空港内に導入しました。

特集

②

接点の拡大～オムニチャネル化～

お客さまが“いつでも”“どこでも”便利で安心、快適なサービスをご利用いただける「オムニチャネル化」を推進し、お客さまとの接点拡大に努めています。

「次世代型店舗」への取り組み

よりお客さまとの接点を大切にしている営業店では、利便性のみならず、質の高いコンサルティングを提供するため、「次世代型店舗」への取り組みを開始しました。

平成29年2月20日に新築建て替えオープンした「中山支店」をモデル店舗として、「こてはし台支店」、「幕張支店」とさらに発展させた取り組みを進めていきます。

「質の高いコンサルティングを提供するために

「次世代型店舗」では、ITを活用してお客さまの手続き負担を軽減します。利便性が高まるとともに、待ち時間等の短縮により、ゆっくりとご相談いただけます。

認証ボックス

印鑑レスでのお取引が可能



タブレット電子サイン

ペーパーレスでお手続きが完結



リモートテラーシステム

専門性の高いご相談が可能



対話型カウンター

ご記入負担を軽減



「インターネットバンキングの機能拡充

「投資信託」「外貨預金」の新規口座の開設がインターネットバンキングから可能となりました。

お客さまのお好きなタイミングで口座開設から購入（預入）、解約（引出）までお手続きいただけます。



「LINE Pay（モバイル決済）」にチャージ可能

「LINE Pay（モバイル決済）」に当行口座からチャージができるようになりました。スマートフォンなどでの“手軽で、素早い”ご決済に、当行口座をご利用いただけます。



TOPICS

「インターネット支店」の開設

平成29年4月、「インターネット支店」を開設しました。1都4県にお住まいのお客さまを対象とし、24時間ご利用可能とすることで、県外にお住まいの方や日中のご来店が難しい方でも、ご利用いただけるようになりました。

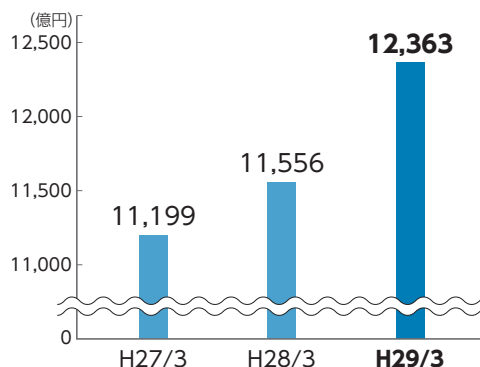


より豊かに～法人のお客さまへ～

お取引先企業の経営課題の解決へ最適なソリューションを提供することで、地域経済の活性化へ積極的に貢献してまいります。

■ 中小企業向け貸出金残高

成長分野を中心に中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前期比807億円増加し、1兆2,363億円（年間増加率6.9%）となりました。



事業性評価への取り組み

お取引先企業の事業内容や成長可能性などを捉えた「事業性評価」に基づき、担保・保証に過度に依存しない融資に積極的に取り組んでいます。



成長分野向けセミナーの開催

お客さまの「医療・介護」や「海外進出」などの事業を支援するため、さまざまなセミナーを開催しています。平成29年2月には、医療・介護事業者への経営サポートの一環として、『人材活性化！！採用・定着強化セミナー』を開催しました。

アルファバンクの後継者塾

後継者の育成を通じて地元企業の円滑な事業承継をサポートし、10年後、20年後の成長に貢献するため、平成28年10月より「アルファバンクの後継者塾」をスタートさせました。



TOPICS

「東陽町支店」の新設

平成29年7月に「東陽町法人営業所」を支店へ昇格させ、「事業性融資専門店舗」として「東陽町支店」を新設します。「品川法人営業所」とともに、今後経済成長が見込まれる都内エリアの営業拠点を強化し、さらなる営業基盤の拡充を図ってまいります。



もっと近くへ～個人のお客さまへ～

お客さまにとって、身近な信頼できる銀行となるため、ライフステージやライフイベントに応じた、多様な商品・サービスを提供しています。

資産形成層のお客さまへ

ライフ
ステージ

20歳代

ライフ
イベント



新社会人

個人型確定拠出年金 (iDeCo)

原則60歳未満の現役世代の方々が加入対象となる私的年金です。老後の生活資金を長期に積み立てたいというお客さまをサポートするため、ラインアップを増やして導入しています。

30歳代



結婚・出産

生命保険の見直し

専門スタッフがお客さまのライフイベントに応じたマネープランの見直しのひとつとして生命保険の見直しをご提案しています。ご相談は、千葉・船橋・柏・成田の各ローンプラザで承っています。
(予約制となっておりますので、お近くの営業店までお気軽にご連絡ください)



40歳代



マイホーム
購入

住宅ローン

お客さまの多様なニーズにお応えするため、4つのうれしい無料サービスを住宅ローンにセットしました。

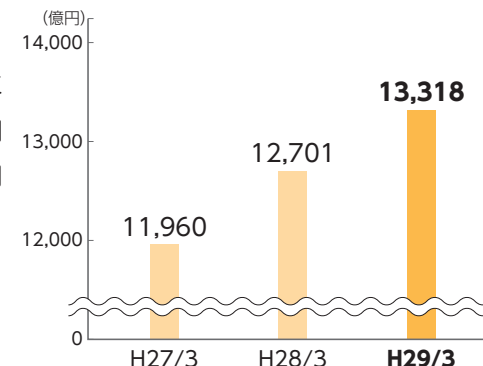
(申し込みに際しては、当行所定の審査がございます。)



※上記について、くわしくはお近くの営業店、もしくはホームページにてご確認ください。(平成29年5月31日現在)

住宅ローン残高

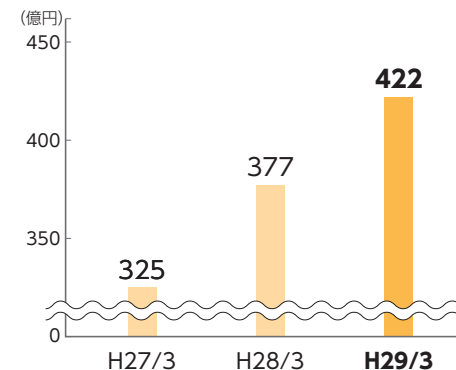
お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前期比616億円増加し、1兆3,318億円(年間増加率4.8%)となりました。



その他ローン(※)残高

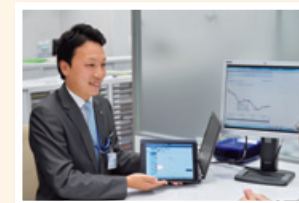
お客さまのニーズに応じた幅広い商品ラインアップを取り揃えたほか、お申し込みチャネルの利便性を高めた結果、その他ローン残高は前期比45億円増加し、422億円(年間増加率11.9%)となりました。

※住宅ローン除く消費者ローン



住宅ローン事前審査申し込みのタブレット受付開始

お客さまの負担軽減、審査回答の迅速化を図るため、ローンプラザにて、住宅関連企業が使用するタブレット端末からの事前審査申し込みの受付を開始しました。



「WEB完結型」フリーローンの取り扱い開始

お申し込みから審査、契約締結までWEB上で完結するフリーローンの取り扱いを開始しました。

シニア層のお客さまへ

ライフ
ステージ

50歳代

60歳代

70歳代

80歳代

ライフ
イベント

年金相談会

セカンドライフ設計の要となる年金に関するさまざまなご相談に対応するため、社会保険労務士による個別年金相談会を開催しています。



退職金専用セカンドライフ応援プラン

退職金を運用するお客さま向けに、「定期預金プラン」と「外貨預金・投資信託プラン」をご用意しています。

退職



教育資金贈与専用口座

「教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」を受けるための専用口座です。ご両親・祖父母さま等がお子さまやお孫さま等に教育資金を一括で贈与する場合に、一定額を限度に非課税となります。

セカンド
ライフ



相続相談窓口

“気軽に相続のことを相談したい”という声にお応えし、相続に関する悩みや心配事を何でも相談できる「相続相談窓口」を設置しています。
(設置店舗は、一定期間ごとに移動します)

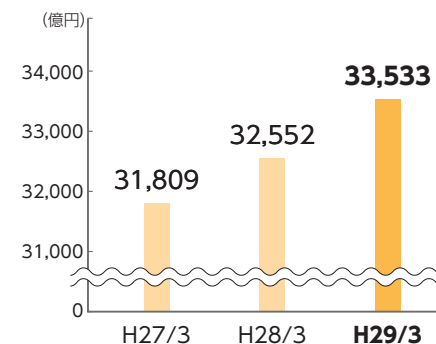
相続



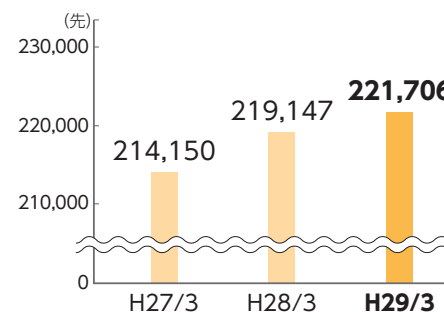
※上記について、くわしくはお近くの営業店、もしくはホームページにてご確認ください。(平成29年5月31日現在)

個人預金残高

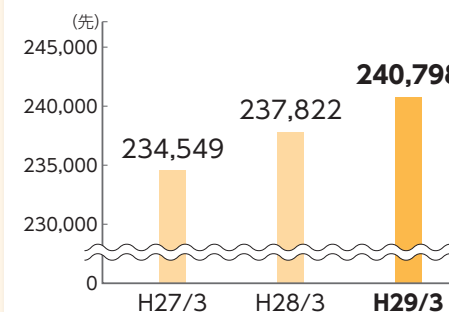
年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前期比981億円増加し、3兆3,533億円(年間増加率3.0%)となりました。



年金受取指定先数



給与振込指定先数



ミニセミナー

「資産運用」、「医療・がん」、「NISA」「相続・遺言」などをテーマに、営業店のセミナールームなどを利用したミニセミナーを開催し、最新の有益な状況をお客さまへ提供しています。



よりよい未来のために～CSR～

地域のお客さまから信頼され、地域社会の発展に貢献するため、さまざまな「地域貢献・社会貢献活動」を展開しています。



金融教育への取り組み

金融教育支援の一環として専修大学松戸高等学校の生徒、成田高等学校附属中学校の生徒を対象に銀行の業務や社会的役割について理解を深めてもらえるよう、出張授業を開催しました。

千葉みなと本部周辺の清掃活動

平成27年10月より、千葉市が推進する「ちばし道路サポート制度」に参加し、千葉みなと本部の役職員が年4回、本部ビル周辺の清掃活動を実施しています。



燃料電池自動車「MIRAI」の導入

平成29年4月、環境に配慮した取り組み強化の一環として、本部営業用の車両に、水素エネルギーを活用した新型燃料電池自動車「MIRAI」を導入しました。



若い芽のαコンサートへの協賛

平成元年より、将来性のある若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的として、(公財)千葉県文化振興財団が主催する「若い芽のαコンサート」(毎年6月、千葉県文化会館大ホール)に協賛しています。

スポーツによる次世代支援

当行野球部が地域の中学校野球部と合同で練習を行い、スポーツにおける次世代の育成を支援しています。



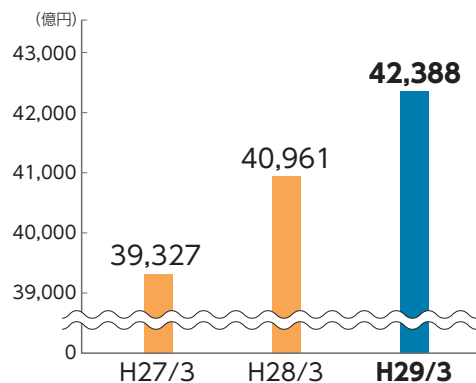
平成29年3月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。

また、収益面では、経常利益は172億39百万円、当期純利益は116億16百万円となりました。

■預金残高

4兆2,388億円
(年間増加率3.4%)

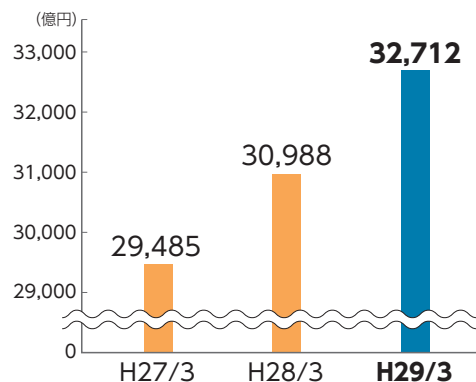
給与振込や年金振込の取引拡大による個人預金を中心に、前期比1,426億円増加し、4兆2,388億円（年間増加率3.4%）となりました。



■貸出金残高

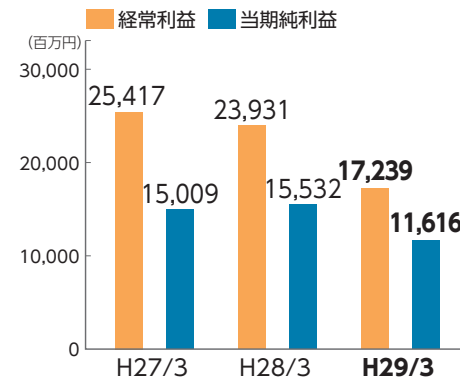
3兆2,712億円
(年間増加率5.5%)

住宅ローンを中心とする個人向けや、中小企業向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前期比1,723億円増加し、3兆2,712億円（年間増加率5.5%）となりました。



■経常利益・当期純利益

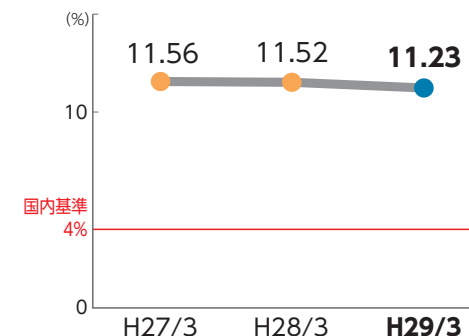
経常利益は前期比66億92百万円減少し、172億39百万円、当期純利益は前期比39億15百万円減少し、116億16百万円となりました。



■自己資本比率

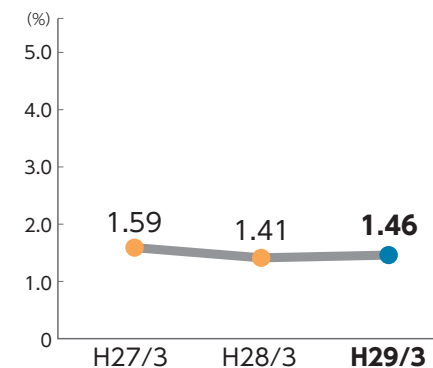
自己資本比率は、前期比0.28ポイント低下し、11.23%となりましたが、依然高い水準を保っています。

なお、平成28年5月に自己株式3百万株（12億69百万円）を取得しています。



■不良債権比率（金融再生法基準）

金融再生法基準の不良債権比率は0.05ポイント上昇したものの、1.46%と引き続き高い健全性を維持しています。



貸借対照表

（単位：百万円）

	第109期 （平成27年3月31日現在）	第110期 （平成28年3月31日現在）	第111期 （平成29年3月31日現在）
資産の部	4,346,219	4,489,763	4,595,149
うち貸出金	2,948,594	3,098,885	3,271,223
うち有価証券	1,003,260	963,499	1,013,246
資産の部合計	4,346,219	4,489,763	4,595,149
負債の部	4,073,054	4,206,896	4,313,268
うち預金	3,932,712	4,096,164	4,238,842
純資産の部	273,165	282,866	281,881
うち株主資本合計	220,465	226,924	234,482
負債及び純資産の部合計	4,346,219	4,489,763	4,595,149

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書

（単位：百万円）

	第109期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）	第110期 （自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）	第111期 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）
経常収益	71,243	70,104	65,774
うち資金運用収益	55,924	54,371	51,053
うち役員取引等収益	10,609	10,472	9,947
経常費用	45,826	46,172	48,535
経常利益	25,417	23,931	17,239
特別損益	△543	△271	△553
法人税等合計	9,773	8,127	5,069
当期純利益	15,099	15,532	11,616

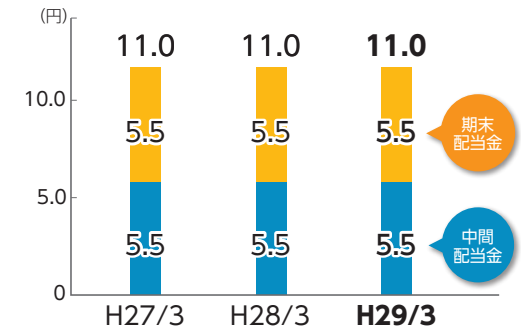
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

（第111期 注記）

- 1株当たり純資産額 1,067円93銭
- 1株当たり当期純利益 43円99銭
- 平成29年3月末における単体と連結の総資産の差額は32億円と、連結総資産4兆5,984億円の0.1%未満と軽微なため、単体のみ表示しています。

年間配当金（1株当たり）

平成29年3月期の1株当たりの期末配当金は、当初の計画通り5円50銭といたしました。これにより中間配当金とあわせた年間の配当金は1株当たり11円となります。



株主優待制度

日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主優待制度をご用意しています。



満期日前にご解約された場合、当行所定の中途解約利率が適用されます。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎0120-367-300 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝日および12月31日～1月3日は除きます）

個人投資家向け会社説明会

県内の個人投資家の皆さまに当行の業績や営業状況をより理解していただくことを目的に、証券会社の協力を得て「会社説明会」を開催しています。

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

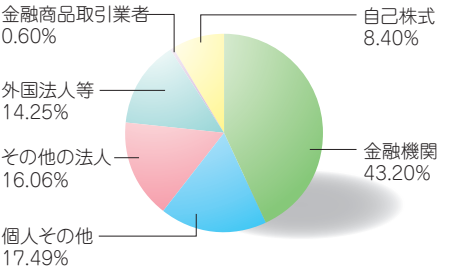
株式数
発行可能株式総数…………… 790,029千株
発行済株式の総数…………… 287,855千株
(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。
株主数…………… 14,482名

大株主 (平成29年3月31日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	15,339	5.81
株式会社千葉銀行	12,213	4.63
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	11,357	4.30
三井住友海上火災保険株式会社	10,018	3.79
京葉銀行職員持株会	7,169	2.71
住友生命保険相互会社	7,122	2.70
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,961	2.63
明治安田生命保険相互会社	5,939	2.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	5,227	1.98
千葉県民共済生活協同組合	5,100	1.93

(注) 1. 上記のほか、当行所有の自己株式24,174,104株があります。
2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は自己株式(24,174,104株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式の分布状況 (平成29年3月31日現在)



平成28年5月に、自己株式を3百万株(取得価格12億69百万円)取得するとともに、3百万株消却しました。

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス http://www.keiyobank.co.jp) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区泉2丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)
(郵送物送付先) お問い合わせ先	

役員の状況 (平成29年6月28日現在)

取締役		
取締役会長 (代表取締役)	取締役副会長 (代表取締役)	専務取締役 専務執行役員 (代表取締役)
小島 信夫	熊谷 俊行	橋本 清
取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員
大島 浩司	君塚 一郎	逆井 哲也
社外取締役	社外取締役	社外取締役
齋藤 康	秋山 勝貞	内村 廣志

監査役		
常勤監査役	常勤監査役	
小澤 進	深山 正嗣	
社外監査役	社外監査役	社外監査役
大塚 弘	小野 功	重田 雅行



県内のバリアフリー施設を千葉県が紹介する「ちばバリアフリーマップ」に当行の店舗が掲載されています。

千葉県健康福祉部「ちばバリアフリーマップ」 <http://www.pref.chiba.lg.jp/pbbfmap/>